



命と暮らしを守る予算に

日本共産党滋賀県議会議員団は、三日月大造滋賀県知事に11月20日、2020年度予算編成にあたって134項目の重点政策要望をおこないました。

知事に134項目予算要望



安倍政権は、くらしと経済を壊す消費税10%への増税を強行しました。地域経済を担っている中小企業をさらに疲弊させ、格差と貧困に追いつちをかけています。

こんな時こそ、滋賀県政が国の悪政の防波堤となって、「住民福祉の向上」という自治体本来の役割を發揮することが求められます。

重点政策要望では、憲法と平和、原発、福祉・暮らし、教育、農林漁業、地域経済、防災・減災対策、ジェンダー平等など11の柱からなる134項目です。

節木三千代県議は、高すぎる国保料を引き下げのため、全国知事会が主張する公費1兆円投入を求めことと合わせて「国体(国スポ)に何百億円も使うよりも、少しでも、県独自の補助をして国保料をひきさげていただきたい」と訴えました。

11月28日定例会議開会

※ 請願書の締め切りは12月5日(木)正午です。

日赤志賀病院はなくてはならない！！ 病床削減の動きに不安・懸念の声が次々と・・・

厚生労働省は、9月26日、病床を削減することを目的に、全国の公立・公的医療機関を対象に、全国424病院を「再編統合について特に議論が必要」と、初めて病院名を公表し、滋賀県では日赤志賀病院をはじめ5病院が名指しされています。

日本共産党県議団は、10月4日三日月知事に対して、国へ「撤回」を求めるよう要望しました。知事は「違和感がある」と表明しています。11月24日の「日赤志賀病院の医療を考える意見交換会」では、参加者から「私も主人も病院にかかっており、なくなると困ります。なくさないで」、「地域医療として、日赤志賀病院は絶対に必要」などの声がよせられました。力を合わせて守っていかなければならないとみなさんの思いがひとつになった意見交換会になりました。

子どもの人権を侵害！！ カーテンのトイレ、男女兼用トイレ 北大津養護学校を視察



校長先生から話を聞く



しきりがカーテンのトイレ

11月22日、北大津養護学校を黄野瀬明子県議、岸本典子・杉浦智子両市議と訪問。

校長先生から学校の概要をお聞き、校内を案内していただきました。

設立当初は100名の児童・生徒でしたが現在180名前後に増加し、手狭で、教室が足りず、職員室が活動室として使用されていました。急がれるのはトイレ改修です。暗い、臭い、カーテンで仕切られている。小学部はいまだ男女兼用で、人権侵害ともいふべき事態となっています。

国スポには9月議会で21億円もの補正予算がポンと組まれましたが、学校のトイレ改修は後まわしにされています。県政のあり方が問われています。(ふしき)

生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2019年11月26日 発行：ふしきみちよ事務所 大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334 メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ http://fusiki.huu.cc/

ふしき みちよ

検索